



明けましておめでとございませす

平成もあつという間に三十年を迎えました。来年には改元がありそうですが、次の元号は何になるのでしょうか。個人的には古風な名称になると良いと思っています。

## 初心忘るべからず

良啓

先月、本山東寺で「伝法灌頂（でんぽうかんじょう）」があり、裏方として参加致しました。灌頂とは、加行（けぎよう。一〇〇年間続く真言宗の修行）を一日三座百二十日間、毎日欠かさず行つた僧のみが受ける事の出来る修行の最終儀式です。その間水行に始まり、睡眠時間が一時間程度しかない時期もあります。体力的にも精神的にも自分を追い込み、それでも残るものに仏を見出し出す大変な修行です。文面だけを見ると、大変そうなお話ですが、当の本人達は毎日が勝負なので、それどころではありません。とにかく百二十日間、空海より授けられ、真言僧侶全員が通つた道を信じて歩みます。

さて、この儀式の為に使用される法具、その荘厳（飾り方、配置や順番など）まで、沖縄では体験できないものばかりです。例えば、飾られる曼荼羅は縦横約4mもあり、持ち上げるのも一苦労です。さらに道場内は、密閉され、外の明かりが一切入らず、その中で何時間も修行僧は真言を唱えます。こうすることで五感が解放され、仏の悟りに近付くことが出来ます。神秘体験を重んじる真言宗ならではのアプローチです。

住職になり、ラジオ番組を持ち、人前で法話をする立場になりましたが、灌頂のお手伝いをするたびに、師僧から教えを授かったあの日に戻り、もっと精進したいという想いになります。今年も一年間、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



## 身近にある仏教語②

裕俊

私達が日常的に使っている言葉の中には、仏教に関係している言葉がたくさんあります。そんな言葉を由来と共にご紹介させていただきます。

### 冗談

お話が上手な方と話していると、「面白い冗談を良くおっしゃっているなあ」と感じます。話し相手を楽しませ、会話を盛り上げてくださっているんですね。元々、仏教用語として使われていた冗談という言葉は、「冗」が無駄、不要などの意味で、「仏道修行には関係のない無駄話」という意味でした。それが一般的に使われるようになり、現在の様な日常語として使われています。

### 油断

「油断して寝坊してしまった・・・」などと気が緩んでいる様として使われている言葉ですが、一説によると「涅槃経」というお経に出てくる次の話が元となっているそうです。王様が、家臣に油がたくさん入ったツボを運ばせる際に、「この油を一滴でもこぼしたら、命を断つ」と伝えたという話から、油で命を断つ「油断」となったという事です。現代ならパワハラで訴えられそうなお話ですね。

